

# 議会の今を伝える

2017. 5. 1 No.45

編集：議会だより編集委員会 印刷：有限会社 利根印刷所

発行：沼田市議会議長 星野 稔

〒378-8501 沼田市西倉内町780

TEL:0278-23-2111 FAX:0278-22-6333

# 沼田市 議会 だより

## 3月定例会号



市役所庁舎を含む新複合施設は「テラス」と決定しました。



「天空の里・真田の里」としての知名度が向上した沼田市の新年度予算が可決されました。

## 議会日程表

月日	会議	内容
2月28日	本会議	開会 提案理由の説明 質疑・討論・採決
3月6日	本会議	一般質問（4人）
3月7日	本会議	一般質問（4人）
3月8日	本会議	一般質問（4人）
3月9日	本会議	質疑・討論・採決
3月10日	委員会	予算審査特別委員会
3月14日	委員会	予算審査特別委員会
3月15日	委員会	予算審査特別委員会
3月16日	委員会	予算審査特別委員会
3月17日	委員会	民生福祉常任委員会
3月22日	本会議	提案理由の説明 委員長報告 質疑・討論・採決 閉会

### 3月定例会の概要

庁舎等複合施設整備事業を始め、第六次総合計画初年度にあたる平成29年度一般会計予算は、大型で積極的な総額235億5,402万8,000円の対前年度比7.5%の増額となり、可決されました。

主な事業では、結婚新生活支援事業、地域介護・福祉空間整備等補助事業、介護予防・生活支援サービス事業、認知症初期集中支援推進事業、旧土岐邸洋館保存整備事業、歴史資料館設置事業が盛り込まれています。

### 「お詫びと訂正」

前回発行の議会だより第44号の8ページ「平成27年度会派別収支報告（永井敏博議員の支出額）」の掲載内容に誤りがありました。

お詫びして訂正いたします。

誤 99,598円 → 正 98,856円



人口減少社会における持続可能な財政運営、健全な財政運営について  
水と緑の大地ふるさとめまた寄附事業について

茂木 清七 議員



まちづくりのための平成29年度予算案について  
平成29年度予算案の編成の構造について  
活気あふれるまちづくりについて

中村 浩二 議員

公共施設等の全体を把握し、統廃合、長寿命化を図ることで、財政負担を軽減、平準化し、各施設の状態に応じ統廃合や公民連携などを検討し、来年度以降、計画の着実な実行に努め、公共施設の最適配置と、適正な維持

に努めてまいりたいと考えております。  
プールに関しては、西中・利根中を除く全学校に設置されており、今後プールを含めた教育施設の利用実態や将来の見通し等を検証し、市長部局と調整を

本市においては、現在、温泉休養施設やふれあい福祉センター等28の施設に、指定管理者制度を導入しているところです。  
今後は、制度の効果等の検証を行い、公共施設等総合管理計

画、今後策定します個別計画の基本方針に基づき、取り組みを進めたいと考えております。  
A4 まず品数では、昨年9月以前は16品目でしたが、現在では37品目となり、21品目の増加となり、平成29年2月末現在で、958件、2,343万7千円であり、前年度と比較して312件、731万5千円の増です。  
ふるさと納税の使い道を明示し、寄附しやすい環境の整備も検討してまいりたいと考えています。

Q1 公共施設の維持管理についてお聞きします。  
A1 本市では、今年度、国のインフラ長寿命化計画に定める地方公共団体の行動計画と位置づけられる「公共施設等総合管理計画」の策定に取り組んでおり、現在策定の最終段階を迎えています。

Q2 プールを含めた教育施設の維持管理についてお聞きします。  
A2 教育委員会においては、幼稚園をはじめ小・中学校教育施設、公民館や図書館などの社会教育施設のほか、市民体育館や運動公園内の社会体育施設等多くの施設の維持管理に努めてまいります。

Q3 指定管理の今後の計画についてお聞きします。  
A3 指定管理者制度は、住民のニーズの多様化に効果的、効率的に対応するためには、公の施設の管理に、民間のノウハウの活用が有効であることから導入された制度であります。

Q4 ふるさと納税の現況と計画についてお聞きします。  
A4 まず品数では、昨年9月以前は16品目でしたが、現在では37品目となり、21品目の増加となり、平成29年2月末現在で、958件、2,343万7千円であり、前年度と比較して312件、731万5千円の増です。  
ふるさと納税の使い道を明示し、寄附しやすい環境の整備も検討してまいりたいと考えています。

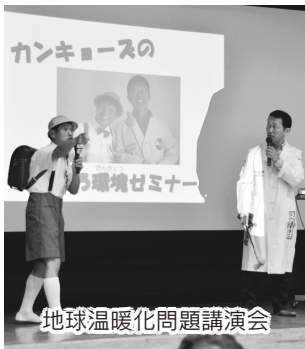
Q1 市の重点事業にどのように取り組むのか伺います。  
A1 国・県補助金や合併特例債などの有利な財源を活用しつつ、第六次総合計画実施計画に位置づける事務事業を中心に取り組みたいと考えております。  
Q2 予算編成に伴う歳入の財源確保にどのように取り組むのか伺います。  
A2 税収の確保に努めるとともに、受益者負担の適正化、保有資産の有効活用や財政的に有利な合併特例債を活用することなどにより、財源の確保に積極的

Q3 合併算定替による地方交付税の縮減について、どのような財政推計を立てているのか伺います。  
A3 合併算定替終了後の削減額として想定される約12億円のうち、一定割合については段階的に減額が圧縮される見込みであり、平成32年度における合併算定替の縮減による普通交付税の減少額は、約4億8千万円と推計しております。  
Q4 積極的な行政改革の推進にどのように取り組むのか伺います。

A4 効率的で機能的な行政システムを確立し、様々な市民ニーズに、的確に対応していくため、行政改革に努めているところであります。  
Q5 大河ドラマ真田丸終了後の観光交流の推進について伺います。  
A5 各メディアに取り上げられた効果を活用したイベントや、本市の歴史的資源を効果的に活用した施策の実施など、引き続き「天空の城下町 真田の里上州沼田」を全国に向け発信していきたいと考えております。

Q6 グリーンベル21改修工事の執行及び財源充当について伺います。  
A6 改修工事の入札方式につきましては「建築工事」「電気設備工事」「機械設備工事」の3工事に分離し、それぞれの工事において、市内事業者による特定建設工事共同企業体(特定JV)へ発注する方針であります。  
財源については、合併特例債のほか、国・県の補助金、庁舎整備基金や合併振興基金を活用し、財政負担の低減に努めてまいりたいと考えております。





沼田市環境基本計画  
について

桑原 敏彦 議員

また、資源やエネルギーの大量消費・大量廃棄型社会の広がり、日常生活や産業活動を利用し、日常消費や産業活動を便利で豊かにしたものの、環境負荷が増大するなど、身近な生活環境から自然環境に様々な変化をもたらしてきていると認識し

また、資源やエネルギーの大量消費・大量廃棄型社会の広がり、日常生活や産業活動を利用し、日常消費や産業活動を便利で豊かにしたものの、環境負荷が増大するなど、身近な生活環境から自然環境に様々な変化をもたらしてきていると認識し

また、資源やエネルギーの大量消費・大量廃棄型社会の広がり、日常生活や産業活動を利用し、日常消費や産業活動を便利で豊かにしたものの、環境負荷が増大するなど、身近な生活環境から自然環境に様々な変化をもたらしてきていると認識し

また、資源やエネルギーの大量消費・大量廃棄型社会の広がり、日常生活や産業活動を利用し、日常消費や産業活動を便利で豊かにしたものの、環境負荷が増大するなど、身近な生活環境から自然環境に様々な変化をもたらしてきていると認識し



台湾観光発展協会等来沼

「真田丸口ス」後の  
観光推進  
正念場の中心市街地  
街づくり  
子どもを育てるなら  
沼田

金子浩隆 議員(一問一答)

Q1 NHK大河ドラマ「真田丸」の沼田市内への経済波及効果はどれだけあったのでしょうか。「ドラマ終え、だんだん元の過疎の町」沼田が大好きな、地元の方の新聞川柳の入選作です。市内への経済波及効果、費用対効果をしつかり検証し、これからの観光推進を図っていかねければならないと考えますが。

Q2 台湾で大河ドラマ「真田丸」が2月から3月にかけて毎晩放送されています。インバウンド(外国人観光誘客)に弾みをつけるチャンスではないでしょうか。

Q3 中心市街地街づくりについて、残り事業期間が7年となる中での今後の進め方を伺います。

Q4 人口減少を食い止めるには

Q1 環境変化に対する社会的変化や動向を踏まえた自然環境の保全と再生について伺います。

Q2 環境保全の助成プラン活用について伺います。

Q4 放射能汚染の今後の対策について伺います。

Q6 エコの実プランの地域を巻き込む具体的な対策について伺います。



市有財産の利活用について  
子どもの貧困対策について  
主権者教育について

久保 健二 議員



幸福を実感できる沼田市づくりの具現化について  
格差と貧困の拡大へのセーフティネットづくりについて

高柳 勝巳 議員

**Q1** 健康めまた21の後期計画の仕上げ段階へ向けた課題と新たな具体的施策の展開への考え方について伺います。

**A1** 「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」や「健康を支え、守るための社会環境の整備」等を目標として、保健・医療・福祉に留まらず、産業・教育分野などの多様な機関との連携を強化し、健康活動を展開することが必要であると考えています。

**Q2** 各種検診の受診率と軽運動等の実施状況と課題を伺います。

**A2** がん検診の受診率は、大腸がんと乳がんについては増加、

胃がん、前立腺がん及び、子宮頸がんについては、若干減少している状況です。

軽運動等の課題では、参加者が女性に偏り、男性の参加者が少ないことから、男性の参加を促すプログラム作りや、啓発が必要であると考えています。

**Q3** スマートウェルネス(健康)シティという概念の導入について伺います。

**A3** スマートウェルネスシティとは、身体面の健康だけではなく、生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れるまちづくりのことでありと認識しています。

ようなものか伺います。

**A3** 本市は申請者世帯の中学生を対象に勉強の支援はもとより、学習習慣を身につけさせることも目的として実施しております。

しかし、現状の支援範囲では対象者が少なく効果も限定的であり、早い段階での学習習慣の定着が重要なことも分かりましたので、支援範囲の見直しや事業内容の改善が課題であると考えております。

**Q4** 教育現場での貧困率の状況と学力格差をどう把握し、学習支援についてどのように取り組んでいるのか伺います。

本市では、さらに、まちづくりの観点から、生活環境、都市基盤及び、教育・文化等関係部署との連携した取り組みや、先進事例等を参考に、研究していきたいと考えています。

**Q4** 生活困窮者自立相談支援の環境として位置付けた本市におけるフードバンク導入の検討について伺います。

**A4** フードバンク事業は、食料の提供先が、福祉関係施設や、ひとり親世帯など、生活困窮者対策として認知されています。

生活困窮者自立支援制度の一時生活支援事業や、緊急時の食

**A4** 本年1月現在、要保護・準要保護の児童生徒数が全体に占める割合は、6・5%です。

学力格差は全国学力・学習状況調査の保護者に対する調査からも分析結果が出ています。

市内小・中学校では放課後学習を実施し、すべての子どもが基礎・基本を確実に定着できるように努めております。

**Q5** 主権者教育について伺います。

**A5** 主権者教育の推進は単に政治の仕組みについての知識の習得だけでなく、国や地域社会の問題を自分の問題として捉え、

料提供など、有効な事業であると考えており、庁内でも生活課を中心に「食品ロス削減に関する連絡会議」を立ち上げましたので、今後研究していきたいと考えています。

**Q5** DVやネグレクト、引きこもり等への事業を自立支援法の準用と既存の相談等の組織との連携や充実策について伺います。

**A5** 自立相談支援事業では、これらの要因が複合的に絡み合っている世帯に対しても、支援を行うことを想定し、情報共有とともに、関係機関と連携しつつ対応していく考えです。

自ら考え、判断し、行動し、国や地域社会の発展に寄与できる力を身に付けさせることが重要だと考えております。

そのため、社会科、国語科、特別活動、総合的な学習の時間など、教育活動全体を通じて主権者教育を推進しております。

**Q6** 18歳選挙権の教育への影響はどのようなものか伺います。

**A6** 小学校において社会科で国民主権について学習した後、中学校において社会科の公民分野の授業で模擬選挙を実施したりする学校も出てきていることから、さらに広げていく考えです。

**Q3** 学習支援(生活困窮者自立支援事業)の現状と課題はどの

いと考えております。

**A2** 施設の維持費削減の観点から、有償借地の低減にも努めた

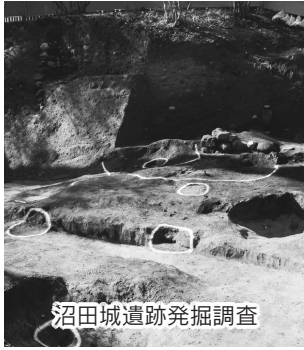
26施設が借地であり、借地面積の合計は約15万平方メートルで、有償借地は43施設、約11万平方メートルであります。

**Q2** 地主との契約は全て把握・管理できているのか伺います。

と、有償借地の低減にも努めた

と、有償借地の低減にも努めた





沼田城遺跡発掘調査

**沼田公園を健康公園として位置付けることについて**  
**中心市街地に市民広場を設置することに**  
**市立幼稚園の統廃合廃止計画について**

高山敏也 議員(一問一答)



ジュニア料理選手権 グランプリ受賞

**地域づくりについて**  
**地場産農作物の活用と観光について**  
**吹割溪谷と吹割の滝について**

大東 宣之 議員

- Q1** 沼田公園に、ジョギング・ウォーキングコースを整備することについて伺います。
- A1** 歴史公園としての位置付、景観への配慮、文化財発掘事業などとの調整を図りながら、整備を進めたいと考えています。
- Q2** 新市庁舎に近接した中心市街地に市民が集う芝生広場を設置することについて伺います。
- A2** 庁舎に隣接する7街区に広場を計画しており、その整備方法を今後検討したいと考えています。
- Q3** 市立幼稚園の統廃合廃止計画策定の経過について伺います。
- A3** 審議会の答申を踏まえ検討

- Q1** 地域の現状と課題についてどう考えているのか伺います。
- A1** 行政区の運営を担う区長をはじめとする地区役員の方々が、連絡調整、祭りなど地域行事、地域固有の伝統文化行事の維持・存続など、様々な課題を抱え、運営に日々苦勞されていることを痛感しています。
- Q2** 地域の担い手づくりによどのように取り組むのか伺います。
- A2** 住民の方へ、地域の実情をご認識していただくことが重要であり、様々な行事に参加することで、地域への愛情が育まれ、主体となる人材育成につながる

- を行ってきました。一方、行政改革推進本部において、入園の応募状況、対象者数の推計値、施設の状況等を基に協議・検討を行い、今後の方向性が決定されました。
- Q4** 市立幼稚園の園児数減少と園廃止に至る原因を伺います。
- A4** 園児対象者は、10年間で3割近く減少し、市立幼稚園を廃止しても、こども園、公私立保育園で受入れが可能、また、女性の就労機会の増大から、保育の需要が高くなっていることも、幼稚園から保育園への転換要因であるとと考えています。

- ものと考え、地域のニーズを十分に把握し、できる限りの支援をしていく考えです。
- Q3** 各種事業計画の推進をどのように進めるのか伺います。
- A3** 各種事業の実施にあたっては、市民の皆さんの声に耳を傾け、市民の皆さんとともに、地域づくりを行うことが重要であるとと考えています。
- Q4** ブランド農産物を使った料理の開発と提供をどのように進めるのか伺います。
- A4** 沼田市農産物ブランド化及び6次産業化推進協議会が検討を行い、菓子店、レストラン及

- Q5** 市立幼稚園廃止のデメリットについて伺います。
- A5** 園と地域の人たちとの交流がなくなることで、通園距離が長くなるなどが考えられます。
- Q6** 全園廃止ではなく、統合の上、数園存続させることについて検討されたか伺います。
- A6** 1園ないし2園を存続させることも検討しましたが、入園応募状況、今後の入園対象者の減少、施設・設備の維持・管理のための財政負担の増大などを受け、市立幼稚園の全園を廃止することが決定されました。
- Q7** 市立幼稚園の役割、存在意

- び料理研究家等に依頼し、商品開発やレシピ開発を行ってきました。
- 現在製作中の協議会ホームページ及び、ブランド農産物のフェイスブックページを活用した情報発信、マルシェ及びイベント出店での周知を図り、これらを活用した商品の提供を広く働きかけていきたいと考えています。
- Q5** 吹割溪谷と吹割の滝への誘客と活用に向け、どのように取り組むのか伺います。
- A5** アジア圏からの観光客の増加が見られることから、インバウンドへの対応についての取り

- 義について伺います。
- A7** 幼児教育の選択の幅を広げ、小・中学校と連携して教育活動の充実を図る、子育て相談の場、地域コミュニティの拠点としての役割を果して来たかと考えます。
- Q8** 今後の幼児教育の在り方と行政の役割について伺います。
- A8** 廃止後も、幼保小関連教育推進事業を継続し、幼児教育、保育、小学校教育の充実・向上に努め、市立幼稚園が、これまで果たしてきた役割や存在意義を補填できるようなシステムづくり等、市民の立場に立って、研究していきたいと考えています。

- 組みを開始したところであり、今後も、利根町観光協会全体と連携を図り、多様化する観光客のニーズを的確に捉え、さらなる誘客へつなげていく考えです。
- Q6** 旧利根村が購入した土地の現状と今後の整備、活用についてどう考えているのか伺います。
- A6** 行政改革推進本部で決定した市有財産等の利活用方針に基づき、維持管理作業を継続していますが、今後は、教育委員会が策定を検討している第3次保存管理計画との整合を図りながら、景観保護保全を視野に検討していく考えです。



ふれあい子ども広場

**ICT化推進  
高齢者の居場所づく  
りと健康寿命  
保育士の待遇改善  
障がい者の住みよ  
まづくり  
奈良古墳群の現状**

星野妙子 議員(一問一答)



**空き家対策について  
在宅重度心身障害者  
デイサービスセンタ  
ー移転について  
短期入所施設整備に  
向けた検討状況につ  
いて**

井上 弘 議員

**Q2** 高齢者が自由に集い交流を  
図る「居場所」は地域からの孤  
立防止や認知症早期発見など地  
域での見守り効果と「健康寿命」  
の延伸が期待されます。設置促  
進の取り組みについて伺います。

**A1** 市政改革大綱及び実施計画  
の具体的取り組みに掲げ、情報  
システム適正化・情報化の推進  
に努め費用対効果を含め研究し  
ます。

**Q1** 行財政改革が行われる中、  
沼田市職員の限られた人数と能  
力と技術を効果的に発揮する為  
にICT化推進(情報伝達技術)  
について伺います。

**A2** 高齢者が安心・安全に住み  
慣れた地域で暮らし続けられる  
よう地域でのまちづくり勉強会  
を開催し誰もが交流できる身近  
な居場所づくりができるように  
検討していくことは重要と考え  
ます。「健康寿命」を伸ばすた  
めに心身の機能低下予防教室の  
充実と支援を継続していきます。

**Q3** 多様な保育サービスを展開  
する中、保育士皆様が保育に対  
する熱意とやる気を持ち、心身  
の余裕をもって子ども達に接す  
ための保育士の待遇改善につ  
いて伺います。

**A3** 乳幼児が1日の大半をすこ  
す保育園で安全で情緒の安定し  
た生活を送るために保育士の果  
たす役割は重要と認識していま  
す。民間・公立の園において、  
多忙で過酷な職場といわれる保  
育現場で子ども達と向き合う保  
育士待遇改善と働きやすい職場  
環境づくりに務めていきます。

**Q4** 障がいがあっても健康者と  
同様に自立して地域で安心して  
暮らせるユニバーサルデザイン  
のまちづくりについて伺います。

**A4** 日常生活に必要な情報が障  
がいの有無にかかわらず取得で  
きるよう情報提供に努めると共  
に、多くの人が利用する施設な  
りたいて考えています。

**Q5** 群馬県は古墳時代から平安  
時代にかけて関東地方周辺で栄  
えた「古代東国文化」の中心地  
です。沼田市奈良町「奈良古墳  
群」の貴重で価値ある歴史遺産  
の活用について伺います。

**A5** 昭和55年に市史跡に指定、平  
成19年に古墳公園用地として公  
有地化されました。古墳とし  
て認定できる10基について地元  
の協力を得て古墳見学が可能で  
す。利根沼田を代表する史跡とし  
て県の指導を受け保存整備する  
と共に今後の活用を検討します。

**Q1** 相談窓口の一本化などの対  
策をスタートして1年が経過し、  
空家等対策計画の策定がどれく  
らい進んでいるのか伺います。

**A1** 昨年7月、庁内関係課によ  
る沼田市空き家等対策推進会議  
を設置し、空き家の抑制につい  
て連携を図り、検討していくこ  
とを確認したところです。

今年度、空き家の実態を把握  
するため、各町の区長に調査を  
依頼し、空き家が815戸、そ  
のうち保安上危険と思われる空  
き家が65戸と取りまとめました。  
沼田市空き家等対策推進会議  
の中で、所有者の意向調査等も

含め、計画を策定してまいりた  
いと考えています。

**Q2** 空き家対策への取り組み状  
況と早期に対策を進めるための  
スケジュールについて伺います。

**A2** 調査結果をもとに、昨年12  
月に危険な空き家について建築  
技師による現地調査を実施し、  
早急に対応しなくてはならない  
空き家11戸について、関係者と  
話し合いをしています。

また、空き家の取り壊しにつ  
いて、一定の条件はありますが、  
取り壊す経費の一部を補助する  
空家解体補助金を創設しました。  
今後、できるだけ早期に空き

家に関するデータベースの整  
備、対策計画策定を進めてまい  
りたいと考えています。

**Q3** 市在宅重度心身障害者等デ  
イサービスセンター「さくらん  
ぼ」の移転に向けての取り組み  
について伺います。

**A3** 沼田市障害者福祉計画の見  
直しのなかで、利用者がより利  
用しやすいデイサービス事業を  
行える生活介護事業所の整備を  
早期に進めることを目的に、市  
有地を活用した障害福祉サービ  
ス事業者の公募を行い、過日、  
実施事業者の選定が済んだこと  
から、今後は、事業者の施設整

備計画に基づき、事業化が進め  
られます。

**Q4** 家庭での介護が一時的に困  
難になった場合に対応するため  
の短期入所施設整備に向けた検  
討状況についてお伺いします。

**A4** 短期入所サービスの利用が  
必要となった場合に、市内には  
宿泊利用のできる入所型の施設  
がないため、市外の施設の空き  
状況により短期入所サービス  
利用している状況です。

生活介護事業所の整備にあわ  
せた複合施設として、今後は総  
合的に推進してまいりたいと考  
えています。

どで誰もが安全に利用できる整  
備を進め取り組みます。

**Q5** 群馬県は古墳時代から平安  
時代にかけて関東地方周辺で栄  
えた「古代東国文化」の中心地  
です。沼田市奈良町「奈良古墳  
群」の貴重で価値ある歴史遺産  
の活用について伺います。

**A5** 昭和55年に市史跡に指定、平  
成19年に古墳公園用地として公  
有地化されました。古墳とし  
て認定できる10基について地元  
の協力を得て古墳見学が可能で  
す。利根沼田を代表する史跡とし  
て県の指導を受け保存整備する  
と共に今後の活用を検討します。





### 新年度事業の取り組みについて 中心市街地まちづくり事業と予算について

星野 佐善太 議員



沼田産米学校給食提供

### 子育て支援・子育て世帯の経済的負担の軽減を求めます 保育料の無料化・主食負担に助成を求めます 学校給食の無料化を求めます

井之川博幸 議員(一問一答)

**Q1** 市長公約の女性の参画の拡大と子育てについて伺います。

**A1** 本市におきましても、就業と子育ての両立を支援する施策として、多様で良質な保育サービスの提供などを行っておりますが、今後もニーズの把握に努め、さらに事業の充実を図りたいと考えております。

**Q2** 企業誘致に向けた優遇策の取り組みについて伺います。

**A2** 用地取得等に係る助成金を交付する制度と、固定資産税の課税免除等の優遇措置を講じております。

今後企業誘致に向けた優遇

**Q3** 既存企業との連携の強化と製品の利活用について伺います。

**A3** 「沼田市企業実態調査」により市内企業の現状の把握及び情報収集に努めており、その活用により企業の情報発信、PR、企業間の連携を図りたいと考えております。

本市に立地する企業の技術や、製品等の積極的な活用の推進は、引き続き連携し利活用の方策について調査、検討したいと考え

**Q4** 街区ごとの事業の進捗状況と今後の計画について伺います。

**A4** 本年度は、1街区は、にぎわいの核の駐車場整備、公衆トイレ整備及び中央通りの歩道整備、2街区及び4街区は、建物移転及び2街区の区画道路整備を実施しております。

その他の街区は仮換地指定に向けた検討が進められています。

今後、1街区のにぎわいの核にある土蔵及び天狗小屋整備並びに、仮換地指定済み街区の事業進捗を図り、仮換地未指定街区では、早期に合意形成が図れ

**Q5** 本町通りと商和通りの道路整備計画について伺います。

**A5** 本町通りは、平成29年度以降、材木町通りのミニストップ側から着手し、本町通り北側の拡幅整備を行う予定であり、また、拡幅する歩道内に電線類を埋設する電線共同溝事業を行う計画であります。

商和通りは、通行の安全確保を第一に考え、隣接する3街区の状況や、接続する国道120号上之町交差点の状況等を考慮しながら検討していく考えです。

**Q1** 本市での子育て世帯の経済的負担の軽減について、保育料の最高額について伺います。

**A1** 最高負担額は、月7万2,750円です。

**Q2** 保育利用者負担額の軽減及び無料化を求めます。

**A2** 長期的な財政負担等を勘案しながら、支援の充実に取り組んでまいります。

**Q3** 保育園3歳以上児の昼食主食負担への助成を求めます。

**A3** 主食の提供方法の統一については、検討していく必要があると考えております。

**Q4** 子どものインフルエンザ予

**A4** 接種を希望する方につきましては、現在は自己負担となっており、助成につきましては、県内の状況等を踏まえ検討してまいりたいと考えております。

**Q5** 子育て支援に逆行する引き上げをやめ、幼稚園利用者負担額を元に戻すことを求めます。

**A5** 国の方針に合わせ、公私立幼稚園統一の利用者負担額を設定したものであります。

**Q6** 就学援助の拡充について、新年度に向けてどのような検討が行われたのか伺います。

**A6** 準要保護者に係る就学援助

項目に、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費の他に、体育実技用品費として、中学校の体育の授業で必要となる個人購入の柔道着についても援助できるように検討してきましたが、引き続き、検討してまいります。

**Q7** 学校給食費の無料化の実施について、新年度に向けてどう検討が行われたのか伺います。

**A7** 昨年、市内の小中学校の児童、生徒の給食費を完全に無料化した場合の負担額と第3子以降を無料化した場合の試算を行ったところであります。

今後、給食費の無料化につき

ましては、引き続き検討を行うものであります。

**Q8** 沼田市環境保健協議会の強化について伺います。

**A8** 今後においても沼田市環境保健協議会と連携を図りながら、循環型社会の構築へ向けた取り組みに努めてまいりたいと考えております。

**Q9** (仮称)ごみ減量推進委員制度及び(仮称)ごみ減量推進協力委員の設置について伺います。

**A9** ごみ減量推進委員制度の実施についても、今後検討してまいりたいと考えております。

るよう、引き続き権利者等と協議を進めたいと考えております。

平成29年度  
市長施政方針

市政運営におきましては、今後10年間の市政運営の羅針盤となる沼田市第六次総合計画を議員皆様のご協力のもと策定することができました。地方自治体を取り巻く環境は、ますます厳しさを増す状況にあります。この計画を中長期的な視点に立つた本市のまちづくりの指針とし、各分野における施策を展開してまいりたいと考えております。

事業への取り組みでは、大きな課題であるグリーンベル21の再生に向け実施設計に取り組みたいと考えております。また、建設業の担い手不足が大きな課題となっている中で、全国に先

にとともに、商業テナントの優先交渉権者が決定し、ビルの愛称募集にも多くの皆様から応募をいただき、まもなく決定する運びとなりました。

このほか、移住・定住促進に向けたトライアルハウスの設置、観光案内所設置による観光客の受入体制の充実と情報発信の強化、白沢町地内への大型企業の誘致実現、東京オリンピック・パラリンピックにおけるフエンシングドイックチームの事前合宿誘致に向けた取り組み、また、建設業の担い手不足が大きな課題となっている中で、全国に先

駆けて官民連携で取り組んだ「利根沼田テクノアカデミー」の開設は、先進事例として全国的にも大きく注目をいただいております。

また、3・3・1環状線事業をはじめとする継続事業についても一定の伸展を図ることができました。

このように、懸案事項の解決と今後の進展に向けて、大きな一歩を踏み出すことができた1年でありましたが、新年度においては、これらをさらに推進してまいりたいと考えております。

平成29年度予算概要表 (百万円)

会計区分	本年度予算	前年度予算	
一般会計	23,554	21,909	
特別会計	国民健康保険	7,085	7,181
	後期高齢者医療	597	581
	介護保険	5,018	4,836
	簡易水道事業	425	420
	下水道事業	1,480	1,488
	農業集落排水	154	181
	電気事業	14	155
	特別会計合計	14,773	14,842
水道事業会計	548	521	
総合計	38,875	37,273	

議案第9号

沼田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

近時における、めざましい医療技術の進歩や高齢化の進展等により、医療費支出が年々増大する中において、本市においては、医療分の支払いにあてる基礎課税額、後期高齢者支援金等課税額及び、介護納付金課税額のそれぞれについて、担税力に応じて負担する「応能割」としての所得割額を平成22年に改定いたしました。もう一つの応能割である資産割額、医療を受けるという受益の点から全ての被保険者が負担する「応益割」

である被保険者均等割額及び、世帯平等割額については、平成17年の合併以来、据え置いてまいりました。

今回の改正は、国民健康保険運営協議会への諮問と答申を経て、資産割額以外の税額を改定するとともに、この税額を基準とする国民健康保険税の減額についての規定を改めるものです。

去る2月22日、「国民健康保険法の一部を改正する政令」が公布され、本年4月1日から、国民健康保険税の減額の基準となる世帯総所得金額について、被保険者一人当たりの加算額が、5割軽減では5,000円、2割軽減で1万円、それぞれ引き上げられることから、併せて改定することとして、関係する条文の整備を行うものです。

**質疑趣旨** 国保税の引き上げは、市民生活に直結をする、大変重要な問題で今回のように、議案が提案されている段階でも詳細な説明資料がないことは前代未聞であり、議会や市民の理解を得ようという姿勢がないのではないかと思います。お考えをお聞かせください。

2点目は、国民健康保健運営協議会への諮問はいつ行い、その際に提出した資料の内容はどのようなものだったのか。また、審議内容と意見はどのようなものだったのかお伺いします。

今回、税率の引き上げと軽減の拡大がセットになっていますが、軽減世帯の税負担は現状と比べ負担増になるのか、負担減になるのか教えてください。また、その額についてわかれば教えてくださいと思います。

**答弁趣旨** 前回の改正は平成22年で、6月議会で直前に出させていただきました。本算定前ということで直前だったので、今回はそれよりも早く準備はしたのですが、配慮が足りなかったと反省しております。

運営協議会への諮問は、昨年の12月26日で、その際に提出した資料は、決算の推移等です。

また、審議内容と意見は1月19日に答申をいただき、附帯意見が4点あり、1つ目として、保険税率改正の内容や必要性等を被保険者に十分な説明を行うよう努められたい。

2つ目として、医療技術の進展や医療保険制度の改正動向等に留意し、保険税について、適時適切な見直しを行われない。

3つ目として、後発医薬品の

2点目は、国民健康保健運営協議会への諮問はいつ行い、その際に提出した資料の内容はどのようなものだったのか。また、審議内容と意見はどのようなものだったのかお伺いします。

今回、税率の引き上げと軽減の拡大がセットになっていますが、軽減世帯の税負担は現状と比べ負担増になるのか、負担減になるのか教えてください。また、その額についてわかれば教えてくださいと思います。

**答弁趣旨** 前回の改正は平成22年で、6月議会で直前に出させていただきました。本算定前ということで直前だったので、今回はそれよりも早く準備はしたのですが、配慮が足りなかったと反省しております。

運営協議会への諮問は、昨年の12月26日で、その際に提出した資料は、決算の推移等です。

また、審議内容と意見は1月19日に答申をいただき、附帯意見が4点あり、1つ目として、保険税率改正の内容や必要性等を被保険者に十分な説明を行うよう努められたい。

2つ目として、医療技術の進展や医療保険制度の改正動向等に留意し、保険税について、適時適切な見直しを行われない。

3つ目として、後発医薬品の

2点目は、国民健康保健運営協議会への諮問はいつ行い、その際に提出した資料の内容はどのようなものだったのか。また、審議内容と意見はどのようなものだったのかお伺いします。

今回、税率の引き上げと軽減の拡大がセットになっていますが、軽減世帯の税負担は現状と比べ負担増になるのか、負担減になるのか教えてください。また、その額についてわかれば教えてくださいと思います。

**答弁趣旨** 前回の改正は平成22年で、6月議会で直前に出させていただきました。本算定前ということで直前だったので、今回はそれよりも早く準備はしたのですが、配慮が足りなかったと反省しております。

運営協議会への諮問は、昨年の12月26日で、その際に提出した資料は、決算の推移等です。

また、審議内容と意見は1月19日に答申をいただき、附帯意見が4点あり、1つ目として、保険税率改正の内容や必要性等を被保険者に十分な説明を行うよう努められたい。

2つ目として、医療技術の進展や医療保険制度の改正動向等に留意し、保険税について、適時適切な見直しを行われない。

3つ目として、後発医薬品の

2点目は、国民健康保健運営協議会への諮問はいつ行い、その際に提出した資料の内容はどのようなものだったのか。また、審議内容と意見はどのようなものだったのかお伺いします。

今回、税率の引き上げと軽減の拡大がセットになっていますが、軽減世帯の税負担は現状と比べ負担増になるのか、負担減になるのか教えてください。また、その額についてわかれば教えてくださいと思います。

**答弁趣旨** 前回の改正は平成22年で、6月議会で直前に出させていただきました。本算定前ということで直前だったので、今回はそれよりも早く準備はしたのですが、配慮が足りなかったと反省しております。

運営協議会への諮問は、昨年の12月26日で、その際に提出した資料は、決算の推移等です。

また、審議内容と意見は1月19日に答申をいただき、附帯意見が4点あり、1つ目として、保険税率改正の内容や必要性等を被保険者に十分な説明を行うよう努められたい。

2つ目として、医療技術の進展や医療保険制度の改正動向等に留意し、保険税について、適時適切な見直しを行われない。

3つ目として、後発医薬品の

2点目は、国民健康保健運営協議会への諮問はいつ行い、その際に提出した資料の内容はどのようなものだったのか。また、審議内容と意見はどのようなものだったのかお伺いします。

今回、税率の引き上げと軽減の拡大がセットになっていますが、軽減世帯の税負担は現状と比べ負担増になるのか、負担減になるのか教えてください。また、その額についてわかれば教えてくださいと思います。

**答弁趣旨** 前回の改正は平成22年で、6月議会で直前に出させていただきました。本算定前ということで直前だったので、今回はそれよりも早く準備はしたのですが、配慮が足りなかったと反省しております。

運営協議会への諮問は、昨年の12月26日で、その際に提出した資料は、決算の推移等です。

また、審議内容と意見は1月19日に答申をいただき、附帯意見が4点あり、1つ目として、保険税率改正の内容や必要性等を被保険者に十分な説明を行うよう努められたい。

2つ目として、医療技術の進展や医療保険制度の改正動向等に留意し、保険税について、適時適切な見直しを行われない。

3つ目として、後発医薬品の

2点目は、国民健康保健運営協議会への諮問はいつ行い、その際に提出した資料の内容はどのようなものだったのか。また、審議内容と意見はどのようなものだったのかお伺いします。

今回、税率の引き上げと軽減の拡大がセットになっていますが、軽減世帯の税負担は現状と比べ負担増になるのか、負担減になるのか教えてください。また、その額についてわかれば教えてくださいと思います。

**答弁趣旨** 前回の改正は平成22年で、6月議会で直前に出させていただきました。本算定前ということで直前だったので、今回はそれよりも早く準備はしたのですが、配慮が足りなかったと反省しております。

運営協議会への諮問は、昨年の12月26日で、その際に提出した資料は、決算の推移等です。

また、審議内容と意見は1月19日に答申をいただき、附帯意見が4点あり、1つ目として、保険税率改正の内容や必要性等を被保険者に十分な説明を行うよう努められたい。

2つ目として、医療技術の進展や医療保険制度の改正動向等に留意し、保険税について、適時適切な見直しを行われない。

3つ目として、後発医薬品の



使用や保健事業の推進など、医療費の適正化と疾病予防に向けた取り組みを進められたい。

4つ目として、負担の公平性を確保するため、さらなる収納率の向上に努められたいとした内容でした。

総額は、13億8,942万円が15億3,876万8,300円という額になり、一人あたり9,640円、10・7%の増額となります。

軽減の拡大によって、2割軽減、3割軽減の人が増えますので、全体的には減額になります。

### 平成29年度 予算審査特別委員会概要

委員長に坂庭直治議員、副委員長に桑原敏彦議員を選出して、延べ87人、212件の質疑が行われました。一部ですが、概要を掲載いたします。

#### ○地方交付税(歳入)

6,016,497千円

**質疑趣旨** 前年度に比べ△3・7%となった地方交付税、市債、平成29年度歳入の確保状況について伺います。

**答弁趣旨** 新年度が合併算定替の縮減が始まって3年目に当たり、合併前の市町村が存在するものと仮定して計算した額の合算額

と合併後の沼田市で算定した額との差額の50%が削減されることとなっているため、所要の額を減じて予算を確保しているところでは、庁舎等複合施設整備事業をはじめ大型事業が数多くあることから、財政負担の平準化及び、世代間の公平性の確保といった点からこれらの事業に充当するとともに、合併特例債や過疎債など、他の起債と比較して、実質的に後年度負担が少なく、財政的に有利な起債を積極的に活用する等により歳入の確保を図ったものです。

**質疑趣旨** 財政調整基金について伺います。

**答弁趣旨** 財政調整基金の本年2月28日現在の理論残高は、27億1,572万7千円です。

平成29年度当初予算において、6億4,766万4千円を繰り入れておりますが、平成28年度決算による決算剰余金を含め、平成29年度末では、25億458万1千円を見込んでいます。

#### ○財政管理費

11,544千円

**質疑趣旨** 新地方公会計システム構築及び財政分析支援業務委託料の事業内容について伺います。

**答弁趣旨** 財務会計システムで管理しているデータを統一的な基準により仕分けを行い、財務書類等を作成するためのシステム構築を委託するものです。

また、財務分析支援業務委託については、法定決算書類の読み替えや法定決算書類の連結のための修正等に関する技術的な援助を求めするために実施するものです。

#### ○財産管理事業

32,254千円

**質疑趣旨** 公共施設等の統廃合についてどのような検討、取組がされるのか伺います。

**答弁趣旨** 今年度策定される公共施設等総合管理計画では、今後40年間で公共施設の保有量を40%削減するという目標を設定し、施設類型ごとの基本方針を定めております。

計画策定に併せて収集した施設の情報を「施設カルテ」として取りまとめ、これを検討の基礎資料として活用します。

#### ○自然エネルギー利用推進事業

21,557千円

**質疑趣旨** 事業内容を伺います。  
**答弁趣旨** 市の指定避難所となっている施設に、災害時の停電等に備えて、蓄電池を備えた太陽

光発電設備の設置を予定してまいります。

設置施設については、施設を管理する所管課と協議し、決定していきたいと考えています。

#### ○太陽光発電施設管理事業 (電気事業特別会計)

1,610千円

**質疑趣旨** 事業内容を伺います。

**答弁趣旨** 市内2箇所(佐山町地内と利根町多那地内)の市有地に太陽光発電設備を設置し、電気事業を実施するものです。

現在、6月の発電開始を予定して整備工事を実施中ですが、事業内容については来年度完成予定の太陽光発電設備の維持管理がおもな内容です。

**質疑趣旨** 支出額の回収年度はいつ頃を見込んでいますか。  
**答弁趣旨** 13、14年後を見込んでいます。

#### ○生活困窮者自立支援事業

7,714千円

**質疑趣旨** 子どもの学習支援業務委託料の事業内容を伺います。  
**答弁趣旨** 今年度から、生活保護世帯及び自立相談支援事業申請者世帯の中学生を対象に訪問型で学習支援事業を実施してまいります。

今年度実施した事業の継続の

他に、就学援助(準要保護)世帯及びひとり親で市が認めた世帯の小学生を対象とする集合型の学習支援事業を新たに行うものです。

#### ○結婚新生活支援事業

3,600千円

**質疑趣旨** 事業内容を伺います。

**答弁趣旨** 補助金を交付することで結婚に伴う経済的負担を軽減し、新生活を支援するものです。

#### ○敬老会事業

20,484千円

**質疑趣旨** 見直しを含めた事業内容を伺います。

**答弁趣旨** 全区長さんを対象に今後の敬老会の在り方についてアンケート調査を実施し「市で用意した記念品を各町にて配布する。」という回答が半数近くあったことを踏まえ、見直しの結果市主催の式典等を取りやめ、対象者に記念品の配付をすることを考えております。

#### ○介護予防・生活支援

サービス事業費

**質疑趣旨** 事業内容を伺います。  
**答弁趣旨** 介護保険制度の改正に伴い、介護予防給付のうち介護予防訪問介護と介護予防通所介護を地域の実情に合わせた地域

84,664千円

支援事業へ移行し、介護予防・日常生活支援総合事業として実施するものです。

要支援1、2の認定者及び基本チェックリストによる判定に基づいた総合事業対象者に対して、訪問や通所により要介護状態となることの予防又は要介護状態の軽減若しくは悪化防止を目的としてサービス提供してまいります。

○庁舎等複合施設整備事業

1, 968, 914千円

**質疑趣旨** 複数年度となる大型事業は、新年度どの程度まで行うのか伺います。

**答弁趣旨** 工期につきましては、約19カ月を見込んでおり、「建築」、「電気設備」及び「機械設備」の3工事に分離して発注する方針です。

外壁や床等については、部分的な撤去を予定しており、設備等についても、建設から20年以上が経過しているため、更新が必要なことから、それらの解体工事を行うとともに、耐震ブレースの設置や鉄骨梁の補強などの耐震補強工事、外装改修工事などを行い、事業費ベースでは、全体の4割程度まで、工事を進めたいと考えています。

**質疑趣旨** 市民要望の反映はどのようにされたのか伺います。

**答弁趣旨** 説明会等で寄せられたご意見は、実施設計業務の委託先と情報を共有し、運営方法や技術的な検討を加え、1階から3階直通のエレベーターを追加するなど、設計等に反映したものです。

○中心市街地土地区画整理事業

353, 485千円

**質疑趣旨** 新年度での事業内容と進捗状況を伺います。

**答弁趣旨** 1街区北側の中央通りの舗装工事、1街区東側の材木町通りの歩道拡幅工事、1街区の建物移転完了に伴い、1街区の国道120号歩道拡幅工事及び電線共同溝工事、2街区の区画道路等の工事及び、2街区・4街区東側の仮換地指定区域権利者の建物移転及び、平成30年度に移転予定の建物補償調査等を予定しております。

また、進捗状況については、事業費ベースで平成29年度の事業を予定どおり実施した場合の進捗率は50・8%となる見込みです。

○やさしさ・にぎわいの

核整備事業

15, 551千円

**質疑趣旨** 事業内容を伺います。

**答弁趣旨** 天狗プラザ内の「土蔵及び天狗小屋」の基本設計及び実施設計業務委託、天狗プラザの外構等の補完工事、土地開発公社が先行買収した核施設用地の利子補填金などを予定しているものです。

また、「やさしさの核」に予定していた施設が、概ねグリーンベル21に入ることとなり「やさしさの核」に予定していた公共施設用地の活用策について、今までの基本計画にある「街なか居住の推進」「医療機能の整備」「公共交通の拠点整備」などについて、庁内の関係各課と検討したいと考えております。

○販路開拓支援事業

1, 500千円

**質疑趣旨** 事業内容を伺います。

**答弁趣旨** 市内の中小企業者が新たな取引先や事業提携先の開拓のため、市外で行なわれる展示会等に出展する際に生じる、負担金や備品の借上げ料等の出展費用について補助率2分の1以内、年間30万円を上限として補助するもので、販売促進活動の活性化を促し、市内企業の競争力向上を図るものです。

○小中学校屋内運動場等

非構造部材耐震化事業

6, 459千円

**質疑趣旨** 事業内容を伺います。

**答弁趣旨** 平成26年度に実施した小中学校の屋内運動場や武道場の天井及び照明器具等の非構造部材の総点検を受け、必要な耐震工事を進めるため、新年度の計画として、升形小学校屋内運動場、沼田南中学校武道場、沼田東中学校武道場、白沢中学校武道場の実施設計業務の予算を計上させていただいております。

○旧沼田教会紀年会堂

保存整備事業

16, 524千円

**質疑趣旨** 事業内容を伺います。

**答弁趣旨** 旧沼田教会記念会堂は、星野健氏の遺志を受けて、星野健氏の兄妹が沼田教会に寄附したもので、建て替えに伴い昭和63年に前所有者の尽力により、沼田公園奥の現在地に移築され、新たに「きり絵美術館」となりました。

その後、平成10年に国登録有形文化財に登録され、平成18年の美術館閉館後は、貸しホールとして使用されていましたが、平成28年6月、沼田市に寄贈されたものです。

建築後約100年、移築後約30年が経過し、建物の老朽化、現在地への進入路も非常に狭く、保存や利活用の面からも大きな支障があります。

当該施設は、ミニコンサートが行える音楽ホールとしての活用や各種発表会等の実施、また、大正ロマンをイメージした企画展などについて、早い時期に保存整備検討委員会を設置し、中心市街地への移築も含めて、様々な活用方法を検討したいと考えています。

○市民体育館管理事業

13, 814千円

**質疑趣旨** 改修についてどのような検討、取組がされるのか伺います。

**答弁趣旨** 本年2月に業者が決定し、実施設計に着手しました。合併特例債を充当する事業で、東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致の関係から、改修期間が限られています。

実施設計の中で、建設コストやランニングコスト等について十分検討を行うとともに、関係者の方々に説明を行いながら、早期に建設工事に着手できるように進めていく考えです。



## 予算審査特別委員会 委員長報告要旨

平成29年度予算規模は、一般会計予算が235億5,402万8,000円で、前年度と比較して7・5%の増額計上であり、特別会計等を含めた総体では388億7,454万1,000円で、前年度と比較して4・3%増の明日の沼田をつくる元気みらい創造予算とした積極型予算となっております。

本市の財政状況は、依然として厳しい財政状況下にありますが、経常経費の抑制に努めるとともに行財政改革を推進し、優先すべき主要事務事業を中心に、市民生活の更なる充実・向上に向けて必要な施策の継続と新規事業を取り入れた、市民誰もが充実し、飛躍する沼田市を目指した予算の計上に努められております。

新年度は、沼田市第六次総合計画の初年度として、市民との連携・協働の下、こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまちづくりを目指す予算が編成されたところと認めます。

審査の過程で議論された主な事項では、市民への情報発信手段として、緊急告知ラジオの活

用の推進や公共施設等総合管理計画については着実な計画の実行が図れるよう、広く多くの年齢層の市民へ現状や今後の課題を周知し、説明と理解を求めるよう望みます。

再生可能エネルギー普及促進事業では、現行の補助制度が拡充され、自然エネルギー利用推進事業では、市有地や市有施設に太陽光発電施設を積極的に導入するなど、また、昨年新設された、当初予算計上された電気事業特別会計は、本市の新たな税外財源確保のものとしても評価できるものです。

生活困窮者自立支援では、充実した自立支援相談体制の整備やきめ細かな就労支援、子どもへの学習支援を望みます。

企業誘致推進事業では、念願の横塚生品農工団地に接する市道の拡幅計画が計上されるなど、今後の産業振興に大いに期待され、新年度より改修工事が始まる「テラス沼田」の庁舎等複合施設整備事業では、市庁舎、市民活動施設及び商業・業務施設の複合施設として活用するため、街なかの活性化、行政の中

心機能及び市民協働の拠点としての整備が望まれるものです。

旧土岐邸洋館保存整備事業及び旧沼田教会紀年会堂保存整備事業では、移築により街なか再生事業と連携を図りながら、中心市街地の活性化を図ると共に、旧沼田貯蓄銀行、生方記念文庫と一体的な歴史文化の発信基地としての施設活用を、また、

歴史資料館設置事業は、庁舎移転に合わせ、保存する貴重な歴史資料を後世に保存・継承する施設として沼田の歴史を広く紹介できる場としての整備を、(仮称)利南運動広場整備事業は、沼田公園長期整備構想に関連したスポーツ施設の移転に係る施設建設として、関係する競技団体、関係者の意見を聞きながら、充実した施設となるよう期待するものです。

「真田丸」効果で高まった本市の知名度を定着させるため「天空の城下町 真田の里・沼田」を全国に発信しながら、新年度における関連事業を着実に推進されるよう望むものです。

## 反対討論要旨

マイナンバーは、個人のすべての情報が集約されるため、その人の丸ごと情報が流失する恐れがあり、国民をこんな危険にさらすような制度は中止するよう求めるべきです。

保育料の無料化に取り組む市町村が増えています。沼田市においてもすべての保育料の無料化にむけた取り組みを段階的にスタートさせるべきです。

グリーンベル21では、市庁舎をはじめ市民活動スペース、歴史資料館の設置など今後の活用により市民の利用、街なかになぎわいを取りもどすことなどに期待しますが、現状では一か所ですべての行政サービスが完結できるのか、維持管理費の軽減にどのように取り組むのかは、不明なままで、早急な取り組みを求めます。

市民体育館の改修、(仮称)利南運動広場の整備には多額な財政負担がともなうことから、財政負担については十分配慮し取り組むことを求めます。

環状線事業では、人口減少が予想されるなか、4車線ではなく、2車線での建設へと大幅な

見直しを求めます。

沼田市国民健康保険特別会計予算については、制度を支えるべき国がその役割をはたさず、地方と加入者にその矛盾を押し付け、困難な運営が強いられることは推察しますが、市民の負担が限界にあるなか国保税を引き上げることとは認められず、国民健康保険税引き上げの提案の仕方にも問題ありと感じます。

運転免許証経歴証明書の交付手数料は1,000円です。早急な対策として新年度予算を修正し、市で補助をすることを求めます。

グリーンベル21では、改修工事にコストダウンが求められていたにもかかわらず、努力の跡は見られず、結果、4億もの増額で44億9,000万円。

市民要望からの2,800万円のエレベーターの新設、空中歩廊、その他、総体的に積みあがった増額では説明がつくされていません。

文化会館負担金では、大規模改修工事が予定されている当該年度、なぜ、運営・管理の負担が旧年度より200万円も増えるのか責任をもって予算計上されるべきと考えます。

## 賛成討論要旨

今年度予算は、合併特例債の期限を逃したら、明日の沼田市はないという、横山市政が強く感じられ、久しぶりの大型予算、積極予算に大いに期待感を持たせるものであります。

厳しい財政状況の中で難しい舵取りが必要となりますが、今まで進んでこなかった空き家対策等の山積していた課題を大きく前進させていきます。

グリーンヘル21活用推進課、テラス沼田の整備所管課を、經濟部から総務部へ、埋蔵文化財の発掘業務及び文化財保護業務体制を強化するため、文化財保護課を新設、社会体育施設整備の増加に対応するため、体育課をスポーツ振興課に、状況に応じた組織機構改革により、重要課題に対処するための体制強化を図るものであり、執行部の熱意を感じるものです。

結婚新生活を支援する結婚新生活支援事業、介護予防・生活支援サービス事業、認知症初期集中支援推進事業などの高齢者への様々な支援の充実、自然エネルギー利用推進事業などの持続可能なまちづくりへの取り組み

み、旧土岐洋館保存整備事業、旧沼田教会記念会堂保存整備事業などにぎわいの核としての文化財整備など、第六次総合計画に位置づけられた具体的施策にも積極的に取り組んでいます。

持続可能な都市へ向け、公共施設等総合計画ができて老朽化に対する質問を数多くしてきましたが、やっとできたかというのが実感です。

計画しているすべてが終わるまでは、気の許すことのないよう改めて、忠告とお願いをしておきたいと思えます。

複数年度での完成を目指す庁舎等複合施設整備事業では、行政サービス及び市民活動の拠点施設として、将来にわたり市民に愛される施設としていくために、魂を吹き込む作業は、これからの大きな課題です。

さらに原点に戻るくらの、気持ちをもって、若い世代の意見を大いに取り入れ、取り組むことを、希望しておきたいと思えます。

しっかりとした計画、実行は、これからの大きな課題であり、情報収集は、市長以下当局の皆様が、カギを握っていることを、申し述べておきたいと思えます。

## 議会改革特別委員会 委員長報告要旨

本特別委員会は、平成27年第2回沼田市議会臨時会において、議会のあり方と環境整備、その他議会改革について調査、研究を行うために設置し、以降、検討を行ってまいりました。

特別委員会の目標であった議会基本条例については、議員の指針として平成27年12月に制定を行いました。

本特別委員会の検討項目としては、前期設置の特別委員会からの検討内容を引き継ぐとともに項目も追加し、

1. 本会議インターネット中継、または録画配信
2. 市議会傍聴規則の見直し
3. 常任委員会から当局への提言制導入
4. タブレット端末の導入
5. 新庁舎議事堂の検討
6. 議案に対する賛否の公表
7. 会議録調製の見直し

について検討してまいりました。また、本会議インターネット中継、または録画配信については、新庁舎移転が確定していることから、新庁舎、新議事堂の整備に合わせ実施することを確認したところです。

市議会傍聴規則の見直しについても、新庁舎移転に合わせ最終調整することといたしました。タブレット端末の導入については、ICT化を推進するため、引き続き研究していくことといたしました。

常任委員会から当局への提言制導入については、行政調査の合同実施により基本的なステップの確立をみたところで、

新庁舎議事堂の検討については、整備方針も示され、議事堂としてのレイアウトも了としたところで、

議案に対する賛否の公表については、実施していくことを確認し、会議録調製については、コスト削減を図ることといたしました。

以上、これまでの概要を申し上げます。また、これまでの概要を申し上げますが、本市議会の充実に、引き続き議論、協議を重ねることとしている議会活動のあり方と環境の整備に向け、今後積極的かつ建設的に積み重ねていく決意であり、調査結果の報告いたします。

## 編集後記

▼ 昨年は真田丸一色の沼田でありました。

1月元旦に「真田丸出陣式」が沼田城址公園グラウンドで開催、531人の人文字で沼田が全国へ発信されました。

また、「上州沼田真田丸展」は予想以上の入場者となり、沼田市への観光交流人口の増加による経済波及効果は大きな成果がありました。

大河ドラマ真田丸の放送による沼田の知名度が全国的に知られましたので、これを一過性のもにしないため、更なる観光への取り組みが重要と考えます。

今後は、本市の人口減少・少子高齢化による課題解決のため、沼田市まち・ひと・しごと創生総合戦略や、沼田市第六次総合計画などが策定されましたので、

こころ豊かな暮らしが実感できる沼田市の創造に取り組んでいかなければならないと思えます。

また、平成29年度は、市庁舎市民活動施設等の複合施設であるテラス沼田の改修工事をはじめとする重要事業が実施されますので、議会としても積極的に推進していきたいと考えます。

中村 浩一 編集委員